

スポーツクリ

TOTO

BIG

2023

No. 108

Summer

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

全国代表者会議・総会

全日本選手権10ダンス

ダンススポーツグランプリ in 京都

WDSF Asian World DanceSport Festival in OSAKA



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人

日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2023年度全国加盟団体代表者・ 正会員会議



山田淳専務理事



金城庸夫特任顧問



金子和裕常務理事



溝口稔特任顧問
ジュニア育成部長



秋田幸子理事



中道俊之組織変革委員長

6月24日（土）有明のJDSFのダンススポーツトレーニングセンター（DTC）において開催されました。コロナ禍以降初の対面の集合会議です。DTCには全国から、都道府県の会長・役員等50名以上の参加がありました。

岸尾政弘事務局長の司会でスタート、山田淳専務理事の「2022年度の振り返りと今後」の説明、そしてJDSFに新たにタップダンス部が加わることになりました。金城庸夫特任顧問の「競技会におけるメディカルサポート実態調査」について解説がありました。

中道俊之組織変革委員長は、JDSFの新ビジョンに向けて具体的な土台作りとなる中長期計画を策定する旨の話があり、休憩を挟んで、ZOOM参加の渡邊将広理事からパリオリンピックのプレイキンについて経過報告と各県での取り組みについて説明がありました。金子常務理事からは念願の国体公開競技となったことについて概要（案）と各県対応についての説明がありました。

続いて、溝口稔特任顧問からは「ダンススポーツ好きな子、アツマレ〜」、そして秋田幸子理事から「キッズ選手拡大構想について」ジュニア関連の説明がありました。

休憩の後、中道俊之組織変革委員長の司会でグループ



メモを整理、ギャラリーウォークへ

セッションが始まり（2028年長野国体の年のありたい姿、実現するための障害）についてしばしディスカッション、さらに班を替えて、（ありたい姿を実現するための取り組みとストーリー）について意見交換が行われ、各班の検討の経過や成果を観るギャラリーウォークを行い、各グループの成果の発表と意見交換が行われました。

最後に、岸尾事務局長の司会で質疑が行われ終了、ダイワロイネットホテル東京有明の懇親会に移りました。

懇親会

2020年コロナ以降は、対面での懇親会は初めての開催、小野智史新監事の乾杯で始まりました。4県の新しい会長の紹介とご挨拶があり、各所で久しぶりの談論風発に花が咲きました。



小野智史新監事



秋田県・長谷川政弥会長



神奈川県・須田幸彦会長



群馬県・岩田雅明会長



沖縄県・安谷屋聡会長

2023年度定時社員総会



前列左より 鈴木監事、市原副会長、布村会長、秋田理事



議長の此村義明氏
(東京都)

★ハ リ五輪の日程とフ レイキン日程・会場の状況
コンコルド広場特設会場
2024年8月9日 女子 予選・決勝
2024年8月10日 男子 予選・決勝

SESSION CODE	DATE	TIME	TYPE OF SESSION	SESSION DESCRIPTION	RINGS PER CATEGORY			
					FINISH	B	10	A
*BK01	09/08/24	4:00 pm - 6:00 pm	Qualifiers	W Qualifier	1.00	1.00	4.50	4.25
*BK02	09/08/24	6:00 pm - 10:00 pm	Medals	W Final	1.50	1.25	4.50	4.50
*BK03	09/08/24	4:00 pm - 6:00 pm	Qualifiers	M Qualifier	1.00	1.00	4.50	4.25
*BK04	09/08/24	6:00 pm - 10:00 pm	Medals	M Final	1.50	1.25	4.50	4.50

パリオリンピックのブレイキン競技日程



オンライン参加の
渡邊将広理事



外部理事の
岡崎朋美さんも
オンラインで参加

6月25日（日）、有明のDTCを拠点にリアルとオンラインを融合したハイブリッド会議が10時から開催されました。岸尾事務局長の司会ではじまり、布村幸彦会長から「45周年記念式典も開催され、新ビジョンを打ち立て新しい段階に入った。国スポの公開競技も決まり、ブレイキンのパリオリオリンピックも迫り、若い世代の活躍に期待し、さらに選手の競技力の向上にも期待したい」と挨拶がありました。定足数の確認、議長選出、議事録署名人名指名に続き、審議に入りました。第1号議案「2022年度事業報告及び収支決算」の件は賛成多数で承認され、第2号議案の「役員選任」の件も候補者全員が賛成多数で承認され、別紙のとおり、新役員が決まりました。任期は2年間です。その後、報告事項としてパリオリンピック「ブレイキン」について、渡邊将広理事から説明があり、金子常務理事から「国民スポーツ大会公開競技」に関する報告などがあり閉会しました。（JDSF広報部相談役 神宮周二）



賛成の札を掲げる正会員の皆さん

新理事に 就任された お二人



長田新子新理事



山下りえ子新理事

理事新任のご挨拶

山下りえ子

(業務執行理事／戦略法務委員会委員長)

皆さま、(改めて)はじめまして！ 2023年6月25日総会において理事に選任いただきました、山下と申します。ポストコロナへ転換する時期に、ダンススポーツのさらなる発展に向けた「新ビジョン」を実現するため、主に「戦略法務」の視点から取り組む機会を与えられたことは、誠に光栄で、同時に果たすべき責任の重さに身の引き締まる思いです。もとより微力でございますが何卒ご指導賜りますように宜しくお願い申し上げます。

現在、私は、大学で法学の研究教育に携わり、東部日本学生競技ダンス連盟の副会長を務めております。元全日本学連会長 人見康子先生は絵に描いた



ダンス活動の友人と

ようなハンサム・ウーマンで、民法の研究会等でダンスのお話も伺ったことがありましたが、当時のご縁を得て自分が学連の活動をサポートする立場になるとは想像もしていませんでした。その後にダンスを始めた理由も、国際学会出張の折、食事・音楽・語らいとともにダンスが、構えることなく自然に、誰もが参加できる社交として行われる現場に直面して「仕事のため」の嗜みでした。初回は誘われても固辞しかできず、次はウィーンで夜会があると聞いて、地元の体育館で開催される「はじめてのダンス教室」に応募しました。「ヴィエニーズワルツですか?!」A級選手のダンス種目なのだとか…指導される先生(市連盟会長)に10年はかかると唖然とされつつ、連続写真つきテキストをお借りすることができ、憧れのウィーンでは3日間の会期の夕方は外国参加者のための特訓に明け暮れ、そして王宮での晩餐舞踏会はウィーンフィルの演奏(リバースターンで戻ってくる形式の踊りでした)——ダンス沼に見事にはまりました。10年を経た今でも実技は嗜む程度です。

今後の抱負について、広報部から有難いご依頼がありましたので、三題断ではありませんが、「温故知新」「ウェルビーイングの創造」「アスリート/プレイヤー・ファースト」を挙げたいと考えます。

JDSFが創立45周年に向けて掲げた「新ビジョン」は、「ダンスを愛し、ダンスの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい」という志を基礎にしています。ひとりひとりの居場所で本当に大好きなことに夢中になれる時間・空間を、私たちが共有・共感すること——AI元年



2023年のJDSF理事会で

の日本という成熟した社会では「遊び心」が革新のヒントになるように思います。

学連でいえば、大学生は、学生スポーツの頂点であると同時にアダルトの出発点でもあります。「学校から社会へ」という生涯スポーツ(選手、指導者、愛好家、保護者、観客等のアントラージュを含む)への橋渡しとなる大切な時期、貴重な人材を預かります。国民スポーツ大会開催へ向けて、競技力の一層の向上と競技継続が今後の目標のひとつでしょう。

また、健康の定義が、ヘルス(疾病のない状態)からウェルネス(身体・精神・社会的に完全に良好な状態(WHO))へと進展し、ウェルビーイング(Well-Being)、つまり心身のみならず社会・環境的にもポジティブな状態、生活の質や幸福感、達成感が目標とされています。「輝くように生き活きたした」自己実現や、他者との心豊かな関わりは、まさにダンススポーツが目指すバリューです。

誰もがスポットライトを浴びる場で「人生を舞う」選手、プレイヤーたちを、役員として支え、信頼を得て、安全・安心に、公正にダンスできる環境づくりに貢献してまいりたいと本心から願っております。(いわば縁の下の舞でしょうか。)

多くを述べましたが、ひとりの非力な言葉では到底実現できないことです。皆さまからの温かいご支援ご協力で導かれ、助けられて、JDSFという大きな銀河の渦に連なっていくことを、いま至極の喜びに思います。最後になりましたが、先任の水本泰弘前理事・吉川英司前理事(現特任顧問)の永年のご功勞に感謝申し上げます。拙い新任のご挨拶に代えさせていただきます。



役員名簿

2023年6月25日現在

役職	氏名	関連役職/担当業務
会長 (代表理事)	布村 幸彦	(外部有識者) 国際医療福祉大学参与 元(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副事務総長 元文部科学省スポーツ・青少年局長
副会長 (理事)	市原 則之	(外部有識者) (一社)日本トップリーグ連携機構専務理事、 元(公財)日本オリンピック委員会副会長・専務理事
副会長 (業務執行理事)	山田 淳	国際・渉外担当 (一社)日本アーバンスポーツ支援協議会理事
専務理事 (業務執行理事)	中道 俊之	戦略会議議長、組織変革委員会委員長、岩手県ダンススポーツ連盟会長
常務理事 (業務執行理事)	金子 和裕	財務委員会委員長、北海道ブロック運営委員会委員長 国民スポーツ大会担当、静岡県ダンススポーツ連盟会長
常務理事 (業務執行理事)	山口 剛	競技本部長、事務局担当
常務理事 (業務執行理事)	篠田 龍佑	関東甲信越PDブロック運営委員会委員長 東京都ダンススポーツ連盟会長
常務理事 (業務執行理事)	石川 勝之	ブレイクダンス本部長、WDSFブレイキン・アドバイザー (一社)アーバンスポーツ大会組織委員会理事
理事	大塚真一郎	(外部有識者) (公社)日本トリアスロン連合専務理事、ワールドトリアスロン副会長
理事	岡崎 朋美	(外部有識者) 元スピードスケートメダリスト・日本選手団旗手
理事	栗栖 太	(外部有識者) 東京大学教授、全日本学生競技ダンス連盟会長
理事	長田 新子	(外部有識者) (一社)渋谷未来デザイン理事、(一社)マーケターキャリア協会理事 (一社)MetaverseJapan代表理事、NEWKIDS株式会社代表取締役
業務執行理事	山下りえ子	(外部有識者) 戦略法務委員会委員長、東洋大学法学部教授、 東京地方裁判所民事調停委員、東部日本学生競技ダンス連盟副会長
業務執行理事	鶴崎 清貴	国際本部長、倫理委員会委員長、大分大学名誉教授 中村学園大学特任教授、世界ダンススポーツ連盟(WDSF)財務エグゼクティブ
業務執行理事	秋田 幸子	エンターテインメント本部長、マーケティング部長 マネジメント部長、事務局総務部長
業務執行理事	佐倉 文彦	アスリート委員会委員長、情報システム本部長 新審判基準委員会委員長
業務執行理事	渡辺 裕美	PD事業本部副本部長
業務執行理事	岡田 大輔	PD管理本部副本部長、近畿中四国PDブロック運営委員会副委員長
業務執行理事	渡邊 将広	JOCハイパフォーマンスディレクター、ブレイキン選手強化部長 マーケティング本部長
理事	福島 梨絵	ブレイキン審判部長 京都府ダンススポーツ連盟ブレイクダンス部長
理事	太田吏圭子	世界ダンススポーツ連盟(WDSF)アスリート委員会アジア支部長

貸借対照表

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	163,167,078	104,068,382	59,098,696
未収会費	91,500	0	91,500
未収金	8,653,708	24,817,490	△ 16,163,782
前払金	5,504,500	4,151,242	1,353,258
棚卸資産	13,680,741	14,898,637	△ 1,217,896
立替金	917,595	450,434	467,161
前払費用	2,269,752	2,488,839	△ 219,087
仮払金	0	50,000	△ 50,000
流動資産合計	194,284,874	150,925,024	43,359,850
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
未来ダンスアスリート育成資産	7,455,336	9,003,314	△ 1,547,978
オリンピック委員会準備金	25,000,000	10,000,000	15,000,000
特定資産合計	32,455,336	19,003,314	13,452,022
(3) その他固定資産			
建物付属設備	4,148,381	5,161,804	△ 1,013,423
什器備品	1,840,604	1,145,983	694,621
電話加入権	405,510	405,510	0
商標権	68,304	79,686	△ 11,382
ソフトウェア	26,903,120	20,769,070	6,134,050
特許権	587,500	737,500	△ 150,000
敷金	10,074,600	11,433,600	△ 1,359,000
その他の固定資産合計	44,028,019	39,733,153	4,294,866
固定資産合計	126,483,355	108,736,467	17,746,888
資産合計	320,768,229	259,661,491	61,106,738
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,420,109	2,621,547	6,798,562
未払費用	195,520	285,156	△ 89,636
前受金	18,055,847	1,620,719	16,435,128
前受会費	25,092,700	26,259,400	△ 1,166,700
預り金	7,156,692	7,308,344	△ 151,652
仮受金	1,399,926	1,454,926	△ 55,000
1年返済借入金	3,000,000	0	3,000,000
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	3,236,100	5,134,100	△ 1,898,000
流動負債合計	67,626,894	44,754,192	22,872,702
2 固定負債			
長期借入金	37,000,000	40,000,000	△ 3,000,000
固定負債合計	37,000,000	40,000,000	△ 3,000,000
負債合計	104,626,894	84,754,192	19,872,702
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取寄付金	7,455,246	9,003,314	△ 1,548,068
特定預金運用益	90	0	90
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	7,455,336	9,003,314	△ 1,547,978
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	208,685,999	165,903,985	42,782,014
(うち特定財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(20,000,000)	(10,000,000)	(10,000,000)
正味財産合計	216,141,335	174,907,299	41,234,036
負債及び正味財産合計	320,768,229	259,661,491	61,106,738

正味財産増減計算書(第12期)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
受取会費	54,858,500	48,193,600	6,664,900
競技会事業収益	103,798,797	65,552,868	38,245,929
研修事業収益	7,331,440	7,301,970	29,470
その他の事業収益	172,934,121	107,257,619	65,676,502
受取助成金等	65,076,731	38,262,000	26,814,731
教材物品販売	8,507,887	13,896,619	△ 5,388,732
受取寄付金	1,698,068	1,883,502	△ 185,434
雑収益	1,640,900	1,722,405	△ 81,505
経常収益計	415,847,444	284,071,583	131,775,861
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	28,987,491	30,148,301	△ 1,160,810
会議費	847,106	352,297	494,809
海外派遣費	16,955,562	535,907	16,419,655
旅費交通費	31,378,346	20,664,214	10,714,132
審判旅費交通費	15,272,304	8,789,482	6,482,822
通信運搬費	7,524,037	7,978,853	△ 454,816
減価償却費	9,975,927	8,211,143	1,764,784
印刷製本費	16,114,719	13,210,360	2,904,359
地代家賃	12,909,706	15,889,317	△ 2,979,611
競技研修等会場費	37,357,305	24,605,573	12,751,732
教育研修費	23,007,407	21,678,265	1,329,142
委託費	72,683,641	33,633,512	39,050,129
教材等制作費	3,591,069	6,336,927	△ 2,745,858
その他	69,193,583	64,812,626	4,380,957
事業費計	345,798,203	256,846,777	88,951,426
管理費	27,267,227	22,887,941	4,379,286
経常費用計	373,065,430	279,734,718	93,330,712
当期経常増減額	42,782,014	4,336,865	38,445,149
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取助成金等(新型J叶)		31,090,692	△ 31,090,692
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	31,090,692	△ 31,090,692
当期一般正味財産増減額	42,782,014	35,427,557	7,354,457
一般正味財産期首残高	165,903,985	130,476,428	35,427,557
一般正味財産期末残高	208,685,999	165,903,985	42,782,014
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	120,000	△ 120,000
特定預金運用益	90	0	90
一般正味財産への振替額	△ 1,548,068	△ 1,883,502	335,434
当期指定正味財産増減額	△ 1,547,978	△ 1,763,502	215,524
指定正味財産期首残高	9,003,314	10,766,816	△ 1,763,502
指定正味財産期末残高	7,455,336	9,003,314	△ 1,547,978
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	216,141,335	174,907,299	41,234,036

2023年6月25日の定時総会において承認された2022年度貸借対照表と正味財産増減計算書です。

独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興助成事業として、2022年度は以下の事業を実施しました。

独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成事業2022年度実施状況

●くじ助成

事業名	実施結果	助成金確定額	助成金の使途
第17回 オールジャパンジュニア・ ダンススポーツカップ 2022 in 東京 (於：BumB 東京スポーツ 文化館)	ユース、ジュニア、ジュブナイル、 女子高校生、女子中学生、小学4～ 6年生、小学1～3年生の各部門で、 スタンダード、ラテンの2区分を行っ たほか、ソロ競技を中学生と小学生 以下の2区分で実施した。 また、競技経験のない小学生2年以 下のを対象としたチャイルドダンス等 を行った。	1,354,000	・審判員、実行委員への謝金 及び交通費 ・会場借用料 ・大会プログラムの作成 ・競技用背番号 ・その他
ドーピング検査推進事業	ブレイキン全日本選手権において実 施したドーピング検査にNf.rep を派 遣した。	11,000	・Nf.repに対する謝金と交通費
広報誌 (Dance Dance Dance) 発行	春夏秋冬の4回の広報誌を遅延なく 発行することができ、当連盟の運営 状況や幅広い会員の活動を全国の会 員等へ発信することができた。	6,695,000	・広報誌の印刷費 ・広報誌の梱包、発送 ・取材のための旅費
日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会記念事業 ダンススポーツ競技大会	年齢30歳以上の選手を対象に年代 別5区分を実施した。 このうち、区分Ⅱ、Ⅳ、Ⅴについては、 世界ダンススポーツ連盟シニア大会 の日本代表選考会とした。	1,074,000	・審判員、実行委員への謝金 及び交通費 ・会場借用料 ・大会プログラムの作成 ・競技用背番号 ・その他
小 計		9,134,000	

●基金助成

第4回 全日本ブレイキン選手権	2022年度よりパリ五輪のブレイキ ン種目出場可能年齢区分に応じた形 の区分として、ジュニア部門とオー プン部門により実施した。	4,800,000	・会場設営準備費用 ・チラシ・ポスター制作代 ・音楽CD制作代 ・メダル、トロフィー代 ・海外審判員旅費キャンセル料
小 計		4,800,000	

●競技力向上助成

選手強化NF 事業		34,211,000	・選手強化活動 ・コーチ力強化 ・次世代アスリート育成 ・感染症対策 ・新しい生活での選手強化活動
小 計		34,211,000	

●全体

合 計		48,145,000	
-----	--	------------	--

■2023年世界10ダンス代表選手選考会

全日本選手権10ダンス2023

6月4日(日) / 名古屋市千種スポーツセンター

毎年6月、名古屋市を舞台に“世界10ダンス”の日本代表(1組)を選出する選手権が、2年ぶりに名古屋市千種スポーツセンターで開催されました。注目は、大会3連覇を狙う大西組と、3週前に開催された「アジアワールド」のスタンダードで日本選手最高位を獲得したTudor&吉川組による見応えあるデッドヒート。結果は、大西組が10種目中8種目を制して日本代表の座を獲得しました。



斎藤嘉隆参議院議員
(立民党)の挨拶



(左から) 毎原保信(チェアパーソン)・鈴木康介(大会実行委員長)・大西大晶・大村秀章知事・大西咲菜・佐合孝史(愛知県DS連盟会長)

全日本選手権10ダンス



優勝

大西大晶・大西咲菜組
(富山県)



準優勝

Tudor Andrei・吉川あみ組(東京都)



第6位

原口侑弥・大西陽来里組
(富山県)



第5位

山下遥聖・山下実彩妃組
(愛知県)



第4位

中村エドワード漸・中村エリザベス永理組
(ブルボンDST)



第3位

太田歩生・松本京佳組(北海道)



優勝

スタンダード 東海北陸ブロックシニアⅡ選手権
工藤俊和・工藤美城組
(愛知県)



スタンダード表彰式



優勝

ラテン
鈴木真也・伊藤直美組
(京都府)



ラテン表彰式

2023年度 選手強化部活動方針 及び活動内容について



選手強化部長 竹下次郎

2020年から新型コロナウイルス感染症拡大のため、選手強化部の活動も大幅に制限されていましたが、コロナ禍もかなり落ち着き、選手強化部としてもコロナ禍前の強化活動を復活させるため、全部員が一致協力して、強化選手・準強化選手の育成を推進していきます。

今年3月に開催した強化選手・準強化選手認定説明会において、3時間に渡り選手強化部の活動方針と活動内容を選手及び保護者の皆様にお話しました内容を、この場をお借りしてJDSF会員の皆様にご報告申し上げます。



活動方針と活動内容

・スローガン『人間力なくして競技力向上なし』

「競技力とともに人間力をさらに成長させ、多くの人々に憧れられる選手になってほしい」というJDSF選手強化部のスローガンです。これは日本オリンピック委員会(JOC)選手強化本部のスローガンでもあります。

・目標 『世界レベルの選手(ファイナリスト)を輩出する』

・具体的強化策

1. 世界選手権代表派遣、ワールドカップ代表派遣・アジアシingleダンス代表派遣

2023年競技関連規程集「海外派遣選手援助規程」に準じて、日本代表選手を派遣いたします。

2. アジアインドア&マーシャルアーツゲームズへのチーム派遣
アジアオリンピック評議会(OCA)主催で、2024年2月24日～3月6日 タイ・バンコクにて開催予定

3. 国内強化合宿(2023年8月18日～20日予定)

強化選手及び準強化選手が一堂に会して、団体生活を通じて「チーム・ジャパン」としての結束、及び「心・技・体」のトータルの強化を図ります。

主なカリキュラムとしては、次の通りです。

- ①アンチ・ドーピング研修
- ②インテグリティ研修
- ③メンタルトレーニング
- ④ダンス技術トレーニング
- ⑤栄養講習
- ⑥メディカルチェック

4. 強化練習会実施

会場はJDSF本部DTCにて。年間5回(5月、7月、9月、10月、2024年1月)「心・技・体」の各専門の外部講師の招請及びスタンダード、ラテンの踊りこみを含めたトレーニングを実施します。



JOC強化本部上田大介インテグリティ教育ディレクターによる机上講習

「スポーツ・インテグリティ入門」日本を代表するアスリートに求められるものとは、JOC選手強化本部が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の意味合い等を解説

5. 特別強化練習会実施（海外トップコーチの招請）

2023年9月17日～18日

世界トップクラスのコーチからの指導を通して、世界最先端の技術の習得を図ります。

年間1回開催で、スタンダード及びラテンのグループレッスンを実施します。



参加者全員による実技講習風景

6. パフォーマンス・トレーニング（Pトレ）実施

関東圏：毎週火曜日（ラテン）及び毎週水曜日（スタンダード）

関西圏：毎週土曜日（ラテン・スタンダード）

担当リーダーを中心に、選手による選手のためのトレーニングで、基礎トレーニング、筋力トレーニング、踊りこみ等を実施します。

7. 担当コーチングスタッフによる育成とサポートの実施

選手と選手のコーチとの間に入って、生活面や技術面での相談・アドバイス、メンタルサポートを行い、強化選手及び準強化選手の育成・サポートをしていきます。なお、全ての強化選手及び準強化選手に対して、選手強化部の部員が担当コーチングスタッフを務めております。

8. 医科学サポートの実施

国立スポーツ科学センター（JISS）での専門スポーツドクターによる診察治療、及びリハビリテーションを実施してもらいます。また、医科学チームによる体幹・体力測定及びデータ分析・活用を実施します。

9. トップ選手への活動補填の実施

2023年度強化選手評価基準に基づき、次年度の特別強化選手を選定し、活動費の支援を実施します。

10. 強化選手のPR活動実施

スポンサーの獲得に向けた新たなPR活動を実施します。

また、選手強化部の体制としては、現在部員17名で次のような10の 카테고리別チーム編成をすることにより、強化選手・準強化選手の育成・サポートを推進しております。

- | | |
|--|------------|
| ① 強化練習会対応チーム
年間5回の強化練習会の企画・招集・実施 | リーダー：渡辺和昭 |
| ② 強化合宿対応チーム
国内強化合宿の企画・招集・実施 | リーダー：渡辺和昭 |
| ③ 海外合宿 & 特別強化練習会対応チーム
海外合宿（今年度中止）及び特別強化練習会の企画・招集・実施 | リーダー：杉崎雅彦 |
| ④ 女性アスリート対応チーム
女性選手の身体的・メンタル的なサポート及び講習の企画・実施 | リーダー：杉崎加代子 |
| ⑤ 強化選手PR対応チーム
SNS等での選手紹介・活動のPR及びスポンサー獲得活動 | リーダー：治面地良和 |
| ⑥ PD強化選手対応チーム
PD強化選手に関する各種情報共有 | リーダー：杉崎雅彦 |
| ⑦ 帯同役員マニュアル作成チーム
帯同役員及び選手への海外派遣に関する各種マニュアル制作 | リーダー：竹下次郎 |
| ⑧ ユニフォーム対応チーム
強化ユニフォームの制作企画及び管理 | リーダー：治面地良和 |
| ⑨ パフォーマンストレーニングチーム
Pトレの企画・実施 | リーダー：渡辺和昭 |
| ⑩ 選手管理チーム
強化選手・準強化選手のノミネート管理及び各種規定類の企画・制作 | リーダー：赤羽 治 |

世界レベルの選手を育成するために選手強化部全員が強い熱意と情熱を持って、ボランティアで日々活動しています。そして、選手の伴走者として、共に進化していくことを常に目指しております。最後に、これからも強化選手育成活動についてJDSF会員の皆様の温かいご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

第34回 秋田県ダンススポーツ大会

2023年5月28日(日) / 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

秋田県ダンススポーツ連盟は、1995年の秋田県社会人ダンス連盟の結成が発端です。「第1回秋田県ダンススポーツ大会」開催は1997年10月。4年後の2001年8月には第2のオリンピックとも言われる「ワールドゲームズ」が開催され、93の国・地域から選手・役員が参加、観客数は30万人に達しました。NHKが毎日全国にテレビ放送し、130以上の国・地域で放映されました。ダンススポーツ大会は大変な人気で朝8時過ぎから観客が並びはじめ、秋田市立体育館は満員となりました。当時の仲野巽専務理事はNHK秋田放送局入りし、リハーサルの後に生放送で大会の解説も行いました。

2017年9月には「ねんりんピック秋田」が開催され、26競技種目のスポーツ・文



歓迎の辞を述べる秋田県DS連盟長谷川政弥会長。秋田県スポーツ協会会長も務める館田有司県議会議員のご挨拶。競技でも活躍(シニアIV La 長谷川・浅野組)菅原裕子チェアパーソン

化の交流大会が開催され、全国から選手・役員をはじめ、延べ約52万人を超える多くの方々が参加、ダンススポーツ大会には50チーム390名が出場、街には竿灯が練り歩き、各懇親会場にはナマハゲも登場しました。

そして、秋田県ダンススポーツ大会は歴史を重ね第34回となり、長谷川政弥JDSF秋田県会長はじめ役員の方のご尽力により順調に開催されました。今回も、秋田の地酒として厳選された秋田の米と水と技がおりなす銘酒「高清水」の秋田県酒類製造株の協賛もあり、東北各県、北海道や関東地方、愛知県、兵庫県からの出場もあり、大会は大いに盛り上がりました。



審判員



山下和男・山下千佳子組(岩手県)



大平秀男・赤坂寿枝組(岩手県)



佐藤等・石塚道子組(岩手県)



吉田準之助・吉田真理組(岩手県)

JDSF A級 スタンダード

JDSF A級 ラテン



福永茂樹・工藤恵美子組(北海道)



伊藤傑・清水仁生組(北海道)



熊谷義昭・熊谷正子組(福島県)



佐藤誠・佐藤美喜子組(岩手県)



中西宜貴・谷原心露組(兵庫県/東京都)

高清水杯争奪選手権 スタンダード



田口博志・加賀谷晴子組(秋田県DSC)

表彰式

高清水杯争奪選手権 ラテン



表彰式

優勝
(A級S12位)



鈴木淳也・鈴木杏子組
(秋田中央ダンススポーツサークル)

JDSF B級 スタンダード

第3位
(シニアIV
A級S1優勝)



栗田良実・川島真澄組
(岩手県)

JDSF B級 ラテン

第3位



遠藤明美・加賀谷晴子組
(宮城県/秋田県)

準優勝



三上等・出町敬子組
(青森県)

優勝



大平秀男・赤坂寿枝組
(岩手県)



表彰式



表彰式

優勝
(B級S12位)



佐藤雅彦・佐藤陽子組
(キャッスルダンススポーツサークル)

シニアII A級 スタンダード

第3位



準優勝

吉田進・吉田えみ子組
(宮城県)



千葉三郎・千葉洋子組
(宮城県)

シニアII A級 ラテン

準優勝
(シニアIV
A級La優勝)



村山新太郎・石山志津子組
(山形県)

優勝
(A級La4位)



三津谷博光・大水てい子組
(青森県)



表彰式



表彰式

優勝



柏葉勝広・小田敏子組(岩手県)

表彰式

シニアIII A級 スタンダード

シニアIV A級戦



スタンダード 表彰式



ラテン 表彰式

表彰式



JDSF C級 スタンダード



JDSF D級 スタンダード



清水杯争奪しみの舞スタンダード



JDSF C級 ラテン



JDSF D級 ラテン



清水杯争奪しみの舞ラテン

第47回全東北学生競技ダンスラテン5種目戦並びに 第50回全東北学生競技ダンススタンダード5種目戦2023

2023年6月18日(日) / 山形大学小白川キャンパス第一体育館
主催：全東北学生競技ダンス連盟 主管：山形大学競技ダンス部

昨年12月の全日本学生競技ダンス選手権(通称:冬全)では、スタンダード・ラテン10種目の中でも、もっとも格式も高く強豪選手が出揃うと言われるワルツにおいて東北大学の山本哲聖・星野佳乃葉組が優勝。一万五千人収容可能な有明アリーナの館内は、まだコロナ禍で限られた観客ではありましたが、発表の瞬間大歓声に包まれました。

全東北学連の創立は1971年(昭和46年)と遅いスタートでしたが、2016年(平成28年)の秋田大学の加盟により東北6県全てに国立大学6校が揃い、現在は、東部学連に次ぐ2番目の規模の学連に成長したと言われています。

2019年からはヴェニズワルツとジャイブを正式種目として団体戦に加算し、実質的には5種目戦として開催されていましたが、今大会からは大会の名称も「5種目戦」に変更しました。

この大会は、2011年の東日本大震災以降は、プロアマを問わずトップ選手として活躍中の現役、若しくは引退間もないトップ選手を招聘し、ジャッジのみならず閉会式の講評に替えて時間の許す限り講習会、ミニデモ(模範演技)を実施し、学生だけではなく、ご来場のダンス愛好の方々にも楽しんで

いただける大会となっています。

今大会では、三笠宮杯全日本チャンピオンとして、海外でも昨年12月、イタリアで開催のWDSF

世界オープン10ダンス選手権準優勝など大活躍中の若手No1兄妹カップル大西大晶・大西咲菜組。さらに三笠宮杯JDSF-PDチャンピオン、我が国のダンススポーツ界を身をもってリードする山本武志・友美ご夫妻にもお越しいただきました。競技終了直後に、山本組は深夜便でイタリアに出かけるため短時間でしたが、大西組の出发は翌日だったため閉会式の講評に替える実技講習、さらには模範演技、質疑応答にとたっぷり時間を掛けていただき、学生のみならず一般の観客の皆さまにも一緒に楽しんでいただきました。

山本組、大西組と言えばTBS系テレビ『金スマ』でも蛭川博信・浅田舞組のコーチ、師匠としてお馴染みの出演メンバーです。



福山連盟会長、神宮連盟副会長及び審判員



各大学主将及び大会関係役員(前列左端:平井山形県DS連盟事務局長、右端:古澤陽生理事長)

審判員
山本 武志 (JDSF-PD) 山本 友美 (JDSF-PD)
大西 大晶 (JDSF-GD) 大西 咲菜 (JDSF-GD)
神宮 周二 (副会長・JDSF公認審判員)



全東北学生競技ダンス連盟福山博之会長(東北大学教授)より優勝カップ吉田杯の授与



講評に替える講習会と模範演技
大西大晶・大西咲菜組



開会式



競技終了後、山本武志・友美組のご挨拶



第4位

高橋秀虎・堀田千鶴組
(東北大学)



第3位

浅野瑛晨・松本奈々組
(岩手大学)

団体戦スタンダード 5種目戦

準優勝



古澤陽生・斎藤恵組(岩手大学)

鎌田琢豊・佐藤澄香組(東北大学)



優勝

石川怜旺・後藤朱音組(山形大学)



第6位

豊田幸太郎・
小熊桃歌組
(福島大学)



第5位

団体戦ラテン5種目戦



第4位

橋本怜亮・大和田空良組
(東北大学)



第3位

吉本有秀・大西夏鈴組(東北大学)



準優勝

藤野匠悟・二瓶京香組(山形大学)



優勝

橋本遥平・菅井飛鳥組(岩手大学)



第5位

木村倅・土田夏菜組(岩手大学)



第6位

寺澤宏太・工藤愛弓組(山形大学)

団体戦総合成績



優勝

優勝 東北大学



準優勝

準優勝 岩手大学



第3位

第3位 福島大学



ダンススポーツグランプリ in 京都 2023

2023年4月16日(日) / 西宇治体育館

昨年に続き、西部ブロックのグランプリは京都府において開催されました。会場は京都市の南に位置する宇治市立西宇治体育館です。大会の運営は谷口主嘉大会実行委員長(京都府DS連盟会長、西部ブロック長)小夜子(司会担当)夫妻を中心に、天道貞一(大阪府)がステージマネージャーを伊藤康雅(滋賀県)がチェアパーソンを勤め、野田尚児(和歌山県)、藤本悟・幸子(兵庫県)夫妻、大江偉夫(奈良県)の各府県連盟会長等がスタッフに加わり、さらに、林栄次郎PD西部委員長が大会副実行委員長、PD西部の岡田大輔(JDSF理事)、坂田麗二(PD奈良県会長)、早崎正剛(PD西部事務局長)等もスタッフとして西部ブロック全体の協力体制を築き、運営もスムーズに運び、競技も順調に

進行し観客席からの声援や手拍子も加わり大会は大いに盛り上がりました。

谷口大会実行委員長は「コロナの安全・安心の対策も継続して施しますが、マスクの着用は個人の判断とします。開催に当たり関係各位に感謝いたします」と話しました。TBS系テレビ『中居正広の金曜日のスマイルたちへ』(金スマ)のディレクター黒川展寛氏や浅田舞さんとペアを組んでいる蜷川博信(オチヨ)さんも観戦、取材活動もされていました。

ユース・ジュニアアスリート・クラブについて紹介する溝口稔ジュニア育成部長



伊藤康雅
チェアパーソン
と谷口主嘉
大会実行委員長

グランプリスタンダード

大会毎に繰り上げられる小嶋組と大西組のデッドヒートはこの大会でも続き、小嶋組がワルツとヴェネズワルツで0.3ポイントの差をつけ、フォックスロットで0.1ポイント大西組が挽回したものの僅か0.2ポイントの差で小嶋組が勝利しました。



笑顔でポーズ



優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組
(DSC神奈川)



準優勝

大西大晶・大西咲菜組
(ハッピーHappyフローバー)



第3位

守屋駿・盛田舞香組
(DSC神奈川)



第4位

藤森春樹・金山咲月組
(東京都DSC)



第5位

飯沼孟大・馬場えりな組
(DSC神奈川)



第6位

中村エドワード漸・中村エリザベス
永理組(ユースアスリートクラブ)

PDグランプリカップ ラテン

山本組が5種目のうち3種目で1位を獲得し、2種目1位の久保田組に僅差で優勝を飾りました。



第3位

Kevin・河岡宏美組
(TDance Production)



準優勝

久保田弓椰・徳野夏海組
(TEAM YUMIYA北海道)

- 第4位 西恭平・西川真由組 (LIBERA DANCE)
- 第5位 谷茂岡敦・姫見麻未組 (ダンススタジオオミナミ)
- 第6位 西川和孝・西川美季組 (西川ダンススポーツアカデミー)



優勝

山本武志・木嶋友美組 (LIBERA DANCE)



Kyoto Dance Sport

シニアI 全日本選手権 ラテン



笑顔でポーズ



準優勝 村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県DSC)



優勝 押川慧悟・和田知世組 (DSC神奈川)



第3位 石田茂之・矢野美帆子組 (すみれダンススポーツクラブ)



TBSテレビ(金スマ)の黒川ディレクターの取材を受ける押川組(蜷川博信・浅田舞組の目標ライバル?)



優勝 高階凌・西島奈那組 (北海道)



準優勝 中島瑠大・岡田愛彩組 (北海道)



第3位 藤原直斗・土屋恵梨組 (パワーズ)



JDSF A級戦 ラテン

第4位 柿澤夏月・小堤帆夏組 (シノダスポーツダンスクラブ)
第5位 廣瀬敏也・財前遥組 (大阪大学競技ダンス部)
第6位 佐藤優一・鈴木十和組 (立命館大学競技ダンス部)

JDSF B級戦 スタンダード



中島瑠大・岡田愛彩組 (北海道)



優勝



優勝

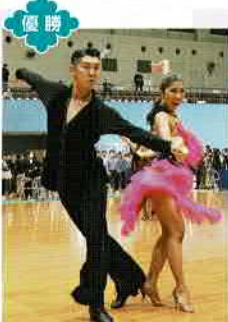
ジュニア スタンダード

足立拓海・打越聖愛組 (ダンスチームみやおか)

山下晴之・磯部愛組 (ジュニアアスリートクラブ)



第3位



優勝

JDSF B級戦 ラテン



野村亮・木内美奈組 (東京都DSC)



ジュニア ラテン

第3位

原澤英大・竹之内梨音組 (ジュニアアスリートクラブ)



優勝

藤枝大河・宮澤めぐ組 (ADSジュニア)



準優勝

若山史穂・中井結愛組 (ジュニアアスリートクラブ)

シニアII A級戦 スタンダード



FLORES MICHEL・桜井有樹子組 (シノダスポーツダンスクラブ)



優勝

JDSF C級戦



スタンダード 表彰式



ラテン 表彰式



WDSF Breaking Asian Championship (WDSFブレイキンアジア選手権)

2023年7月1日(土)～2日(日)



日本チーム選手団

AMI選手、AYUMI選手がメダル獲得！

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(略称JDSF)は、2023年7月1日から2日にかけて中国の杭州で開催されたWDSF Breaking Asian Championship(以下、アジア選手権)において、日本代表選手と強化選手を派遣しました。この大会では優勝者と準優勝者が、2024年3月から6月にかけて行われるオリンピック・クオリファイヤー・イベントシリーズ(以下、OQS)への出場権を獲得することができます。

男子部門には72人、女子部門には45人の参加選手がおり、予選として行われた1日目のプレセレクションから、2日目

の決勝トーナメントまで戦いました。

福島あゆみ(AYUMI)が金メダルを獲得し、湯浅亜実(AMI)が銀メダルを獲得し、OQSへの出場権を獲得しました。男子部門では韓国のWingが優勝に輝き、2位には地元・中国のX-Rainが入りました。

女子は11人がベスト16に入る活躍で、4人がベスト8に進出しました。

男子部門では5人がベスト16に進出し、そのうち2人がベスト8に進出しました。



金メダルを獲得した福島あゆみ(AYUMI)



健闘を称えあう福島あゆみ(AYUMI)と湯浅亜実(AMI)



表彰台でのAYUMI選手とAMI選手

優勝したAYUMI選手

今日は、最後まで踊り切れたことが本当に嬉しいです。自分の目標は、用意してきたものを出し切ることだったので、それができて本当に嬉しいです。決勝前には、色々考えてしまい涙が出そうになりました。アミーゴ（AMI選手）と一緒にこのプロセスを戦っているということがとても大きく、いつもこのファイナルで当たることは嬉しいけれども同時に悲しくてきつい気持ちになるんです。でも今日は、思いっきり頑張ろう！って気持ちになれたので、決勝を楽しむことができました。

★日本人選手ベスト8入賞結果

女子部門

- 1位 AYUMI（福島あゆみ） 京都府
- 2位 AMI（湯浅亜実） 神奈川県
- 6位 RIKO（津波古梨心） 沖縄県
- 8位 AYANE（半井彩弥） 東京都

男子部門日本選手順位

- 5位 SHIGEKIX（半井重幸） 神奈川県
- 6位 HIRO10（大能寛飛） 石川県

NHKの番組ヒューマン×スポーツで福島あゆみさんが登場 自分らしさを一瞬に込めてブレイキンAYUMI



NHK総合テレビ3月20日（月）に初放映されました。

この番組は、スポーツが織り成す「人間ドラマ」に徹底的にこだわる、ドキュメンタリー番組です。壁に挑み、敗れ、立ち上がる。アスリートの姿をリアルに描き出します。約1年に渡り、NHK取材クルーが密着取材です。

来年に迫ったパリ五輪の新競技ブレイキン。メダルの期待がかかるのがAYUMI（39）、数々の国際大会で優勝するトップダンサーだ。全日本選手権に挑んだ日々密着。

DJの音楽に合わせて即興で踊る1対1のバトル！パリ五輪の新競技ブレイキン。注目の一人が、世界のトップ選手として君臨するAYUMI。武器

9月にベルギーで世界選手権が行われます。また、チームでも大きな大会が控えているので、目の前の課題に一つずつ取り組んでいきます！



は創造性豊かなオリジナルダンス。「雑巾」「坂田ロック」「アーイン」と名付けた技で唯一無二のダンスを披露する。だが長年酷使してきた体は故障が絶えない。41歳で迎えるパリ五輪、AYUMIは代表選考につながる全日本選手権で、自らの人生をダンスで表現しようと壮絶な戦いに挑む。

（NHKスポーツXヒューマン過去のエピソードより引用）

（協力：JDSFブレイキンダンス本部PRパートナー FINEPLAY）

東海北陸ブロック選手権大会2023

2023年5月28日(日)／富山市総合体育館 第1アリーナ

主催：富山県・(公財)富山県スポーツ協会・富山県生涯スポーツ協議会・
(社福)富山県社会福祉協議会・富山市ダンススポーツ連盟・
(公社)日本ダンススポーツ連盟東海北陸ブロック



富山県DS連盟の笹山治一理事長による主催者挨拶



大会名誉副会長・堂故茂 参議院議員(自民党)



富山県DS連盟名誉会長・田畑裕明衆議院議員(自民党)

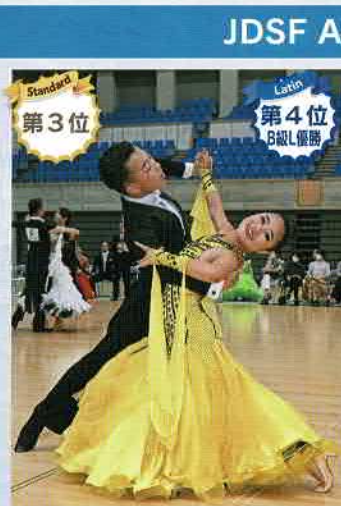
JDSF東海北陸ブロックの前期選手権大会が、今年も富山県スポーツフェスタなどと併催で開催されました。広々とした会場へは各地から延べ142組(27区分)の選手が来訪し、メインとなる選手権(A級戦)は、愛知県の山下遥聖&実彩妃組がLa・Stともに優勝し、地元・富山の原口・大西組が準優勝。日本航空高等学校(石川県)のガンバール・テ&プヤンデルゲル組がスタンダード3位・ラテン4位に入る大健闘を見せました。



山下遥聖・山下実彩妃組 (愛知県)



原口佑弥・大西陽来里組 (ハッピーHappyクローバー)



ガンバール・テ・プヤンデルゲル組 (日本航空高等学校)



加藤 輝・疋田優花組 (愛知県)



坊田康平・藤岡由有組 (富山県DSC)



鈴木尚志・大田美智子組 (DSC大阪)



西嶋万葉・岩崎咲希組 (ハッピーHappyクローバー)



瀬瀬大貴・篠田雄多組 (愛知県)



後藤真歩・後藤咲綺組 (JELダンススポーツクラブ)



B級戦スタンダード



鳥津一男・徳田昌美組 (JELダンススポーツクラブ)



B級戦ラテン



C級戦スタンダード



C級戦ラテン

「WDSF Asian World DanceSport Festival in Osaka」開催

2023年5月14日(日)
千里阪急ホテル(大阪)

「WDSFアジアンワールド・ダンススポーツフェスティバル2023」が、2019年以来、4年振りに大阪で開催されました。今回の大会は世界中からWDSF（世界ダンススポーツ連盟）トップ10に入る一流選手たちや、アジア各国からも多数の選手がエントリーし、会場にいる誰しもが魅了されるような感動で満ちた熱い闘いが繰り広げられました。開催地は伝統的な日本の美意識と最新の設備が調和した千里阪急ホテル（大阪）。会場のフロアはムービングライトの光に包まれ、観客と一体になる空間が幻想的な世界観を演出し、国際大会に相応しい熱気に満たされました。

2019年の大会では、素晴らしいダンスが観客に受け入れられたときに起こる「鳴り止まない拍手」が起こり、選手たちの美しく優雅なダンスが観客の心をも鷲掴みにしましたが、前大会を観戦された方はもちろん、前大会を見逃して『今回こそは！』と訪れられた方まで、WDSFのトップ選手たちの感動のダンスにどっぷりと浸っていただけたのではないかと思います。

願わくば、今後は、すでに社交ダンスをされている方だけでなく、まだ社交ダンスに触れたことがない方々にも、この選手権を観ることで、音楽と一体化する芸術的スポーツを味わっていただけたらと思います。

今大会では、チケットにフルコースのディナーをお付けすることで、ダンス観戦を楽しまれたあとも、当日の余韻に浸りながら別室でお食事を味わっていただき、1日を通して非日常的なダンスの世界に没入していただきました。

さらに今大会はVIP席という特別なお席も設けさせていただき、フロアサイドでの観戦だけでなく、別室モニターでもトップ選手のダンスを楽しんでいただけるようご用意いたしました。このような形を取らせていただいた狙いは、今までの競技会運営費が主に『出場料』でまかなわれている現状を鑑み、今後もし継続的にこのような国際大会を開催するためには、今JDSFで取得できている『助成金』のみならず、観る方々からの『観戦料』の必要性が増してくると思ったからです。

そして企業スポンサーを募り、社交ダンスのファンとなってもらうため、まずは社交ダンスと親和性の高いカテゴリーの企業様に、JDSFのYouTube再生回数を認知いただき、応援してくださる気持ちに対してプラスαの利点を提示し、関わっていただく機会を創出しています。

そのために、今大会のYouTube撮影は4台のカメラを設置。さらには、すでに他のスポーツ競技のテレビ中継に入られているカメラマンをオファー。実況アナウンサーも、実績のあるテレビ大阪のアナウンサーをお願いすることで、会場に足を運ぶことができない方にも世界の風を感じていただけるように試みました。是非、今後のスポンサー獲得のため、また、このような大きな大会を継続するためにも、大会YouTube動画を周りの方々にご紹介いただけたら嬉しいです。私自身、アジアンワールド・ダンススポーツフェスティバルを通じて、社交ダンスの高揚感と素晴らしさを伝えられることを切に願っております。（大会総括 北牧雅文）

表彰式



開会式風景



シニアII A級スタンダード



シニアIV A級スタンダード



山田淳事務理事の挨拶



藤井雅明JDSF-PD審判部長のジャッジ宣誓



アンダー25 スタンダード



アンダー25 ラテン



プレジュニアラテン サンバ



プレジュニアラテン ルンバ



プレジュブナイルラテン サンバ&チャチャチャ

WDSF-PD オープンスタンダード



優勝

Alessandro Ilarioni・Aurora Sbardella 組
(イタリア)



準優勝

Sean Smullen・Amie Leak 組
(アイルランド)



第3位

Khwan Kim・Ye Rang Park 組
(韓国)



第4位

ZhiBo Zhang・Yi Zong 組
(中国)



喜多田芳起・喜多田千代 組
(ザ・ゴールデンパレス大阪)



山崎圭太・石本美奈子 組
(エムズダンスアカデミー)

準決勝進出日本選手



第6位

Xiao Wang・Yixin Wang 組
(中国)



第5位

Ran Mo・Zhen Xing 組
(中国)



第3位

Ricky Lu・Samantha Liou 組
(チャイニーズ・タイペイ)



準優勝

Lerson Shinawat・Patoomsriwiroje Preeyanoot 組
(タイ)

WDSF-PD オープンラテン



第6位

高島大知・北牧奈緒子 組
(TAICHI DANCE LUCE)



第5位

西 恭平・西川真由 組
(LIBERA DANCE)



第4位

Kevin・河岡宏美 組
(T Dance Production)



優勝

Andrea Silvestri・Martina Varadi 組
(ハンガリー)

WDSFインターナショナルオープンスタンダード



第3位

Zhaoming Wang・Mengting Cai 組
(中国)



準優勝

Nicolò Barbizi・Sara Ros Jakobsdóttir 組
(アイスランド)



優勝

Bartłomiej Szkutnik・Agata Brychcy 組
(ポーランド)

準決勝進出日本選手



小嶋みなと・盛田めぐみ 組
(日本)



第6位

大西 大晶・大西 咲菜 組
(日本)



第5位

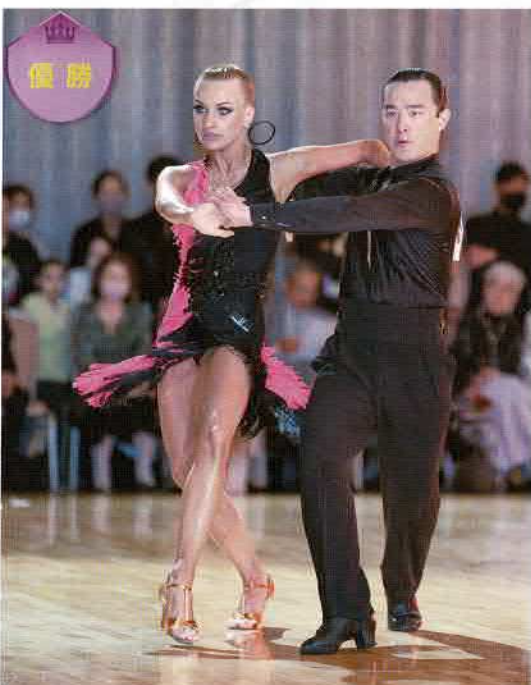
Tudor Gabriel Andrei・吉川あみ 組
(日本)



第4位

Luciano Donato・Adele Diodati 組
(イタリア)

WDSF オープンラテン



優勝

Winson Tam・Anastasia Novikova 組
(香港)



準優勝

Nicolò Barbizi・Sara Ros Jakobsdóttir 組
(アイスランド)



第3位

大西 大晶・大西 咲菜 組
(日本)



第4位

Jefferson Pimentel・Mary Desiree Seraga 組(フィリピン)



第5位

Tudor Gabriel Andrei・吉川あみ 組
(日本)



第6位

Wilbert Aunzo・Pearl Marie Caneda 組(フィリピン)

An illustration depicting various environmental and sports activities. At the top left, a man in a green shirt and blue pants runs while holding a yellow megaphone. Next to him, a woman sits cross-legged holding a green plant in a pot. In the center, a large green globe is surrounded by several people holding a red ribbon that forms a heart shape over it. To the right, a person is riding a bicycle. Below the globe, a woman sits on a stack of green books, and another person is climbing a stack of books. In the foreground, a man in a yellow shirt holds a large green water bottle, and a person in a wheelchair is nearby. A green recycling bin with a white recycling symbol is also present. The background is a light beige color with green wavy lines.

環境を守る スポーツを守る 未来を守る TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに!



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

ダンス・ダンス・ダンス
第108号 (Summer)

令和5年8月発行

- 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長 / 佐藤肇之 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。